

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年12月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679100190
法人名	有限会社 ウィル
事業所名	グループホーム たんぽぽの家
所在地	鹿児島県大島郡徳之島町亀津122番地2 0997-81-1249
自己評価作成日	平成25年11月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年12月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成17年に設立してからの経験と実績により、年々GHとして出来ることが増えてきたと思っています。例えば、各利用者の希望病院との訪問診療・訪問看護体制を整え、利用者の状態の変化の際には迅速に医療機関との連携により、今までは即病院へ入院という流れだったのが、安心してGHで治療や様子観察ができる体制が整えられてきていると思っています。
GHという施設で、利用者様が家庭的な雰囲気の中で、「ゆっくりのんびり楽しく」1日1日を過ごしていけるような支援を、職員一同取り組んでいます。今後もよりよいGHになれるよう、取り組んでいきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは市街地にあり、近隣には総合医療機関やコンビニエンスストアでの買い物など、便利な場所にある。
- ・管理者や職員は、理念に沿ったケアを実践し、利用者を年長者として丁寧に敬いながら、仲良く楽しく過ごしている。
- ・開設当初より継続して発行しているホーム便りは、毎月家族へ送付され、ホームでの行事や入居者の状況等がつつられ、家族から喜ばれている。
- ・内外の研修に、多くの職員を参加させ、資格取得を推奨するなど、地域密着型サービスの質向上に積極的に取り組んでいる。
- ・職員からの、サービスの向上や業務の推進についての意欲的な提案が出され、ホームの向上に活かされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設での生活の中で、「落ち着ける場所」でありたいために、職員一丸となって雰囲気作りや接し方にも気を配っています。	事業所の理念を職員全員が意識しながら、ゆっくり・のんびり・楽しく、利用者の生活リズムが異なるため、特性やペースに合わせたケアを支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	区の方には運営推進会議の参加を要請しています。区からは、お祭りや季節の行事の日程をいただいています。	餅つき大会などの地域行事への参加や学生の体験学習を受け入れたりしている。緊急時は近所のガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどから連絡体制が取れるように近隣の店舗等に利用者の情報提供を行い、協力関係が築かれ、地域交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域への直接的な働きかけはありませんが、地域の小学生の職場体験の受け入れを毎年行い、認知症の方の接し方や理解を経験してもらっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営会議で得られた評価に職員で目を通し、ステップアップに向け努力している。</p>	<p>定期的に会議を開催し、家族や地域住民代表・行政担当者との意見交換を行い、地域の方からもっと地域へ出向いて欲しいとの意見もあり、職員間で共有し、対応できるように取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎回、運営推進会議には市町村担当者の出席をもらっています。その中でホームの実情・相談を行ってます。</p>	<p>日頃から、担当者にホームの報告や相談事を行い、指導や助言を受けており、運営推進会議に参加してもらう等、連携や協力関係が築けている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全職員一体となって、肉体的・身体的身体拘束は行わないという強い意識を持ち、日々の介助を提供しています。</p>	<p>日中の玄関の鍵はかけずに自由に出入りできるようにしている。身体的拘束だけでなく、言葉や態度による拘束もしないように、職員間でお互いに注意や理解を促しながら、取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内の虐待には職員同士で目を配り、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者の「愚行権」を大切にしていけることはミーティングの度に話しています。この機会に、成年後見制度を学ぶ場を設けたと思っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時には必ず契約書・重要事項説明書の確認をご家族と共に行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営会議や外部評価により得られる家族からの意見も参考にし、運営のマンネリに陥らないように気を配っていこうと思います。	本人からは日頃の生活の中で思いを聞いている。家族からは面会時にお茶を飲みながらリラックスした雰囲気でも聞いたり、話しやすい職員が対応したりして意見や要望を聞いている。服装などの要望や意見などがあり、職員間で共有して日頃のケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	利用者と長時間かかわっているのは介護職員なので、利用者のことを一番理解していると思っています。その職員の思い・意見や提案を聞く姿勢を持つように心がけています。	ユニット毎に定期的な職員会議を開催し、意見や要望を聞く機会を設けている。日常的に話し易い雰囲気であり、業務用エアコンの購入や歌詞カードの作成など、職員の意見が運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者として年数や経験を積むことでわかること出来ること、必要なことが少しずつ分かり、長く働ける良い就業場所となるよう配慮してるつもりです。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得を積極的に促しています。研修会のお知らせの文書も掲示し、職員に積極的に参加するように促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	徳之島3町のグループホームの連携はとてもよく、定期的に集まり、情報交換や相談事、勉強会を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所初期は親しみやすく、緊張しない関係作り・話しやすい雰囲気を作り、なんでも口に出せる環境作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	職員からも家族に声掛けを行い、気軽に要望や意見を言いやすい雰囲気を作れる関係に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に本人に面会し、本人の状態などの把握に努め、入所時にスムーズにホームでの生活に慣れるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理手伝いや、洗濯物干し・取り込み・たたむこと、日課を手伝ってもらうことに、その都度感謝の言葉かけを行ってます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会の際には、利用者のそれまでの生活歴や家族構成・性格・好きなこと苦手なことを聞き出すように努めています。いつでも面会に来てくださいとの声掛けも随時行ってます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅が見たいという方には自宅までドライブ。なじみの美容室への送り向かい。ご兄弟との定期的な面会等、各人にとって必要な支援を行っています。	本人の要望に合わせて馴染みの場所に外出したり、友人が訪れたりしている。離れて暮らす家族や親類にはホーム便りで近況を知らせたり、これまでの関係が継続できるように支援している。家族に協力をもらい、外出や外泊の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気が合わない利用者同士にも、職員がフォローを入れることにより、良い関係を保てるよう気を配っています。利用者間でトイレの場所を教えてあげたり下膳の手伝いの場面も見られます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	町で見かけたら、声をかけ現在の状態を聞いたりしてます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各職員で気づいた点や利用者の要望をその都度記録に残し、そこから情報を得ています。	利用者との日常の会話から「○○したい」という一言を聞きもらさず、記録して実現できるように対応している。また、意思表示が困難な場合は、家族から思いを聞き取ったり、職員間の情報交換により、本人中心に支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所の際にご家族や、それまでの担当ケアマネから情報をもらい、性格・ADL・生活歴・趣味嗜好を把握		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の利用者の体調を把握し、職員同士で1日をどう過ごしてもらうか共通認識を持っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	おおまかなプランはあるが、24時間365日共に生活しているので、それにとられることのないよう、その都度接し方・病院受診依頼を職員で把握し、実施しています。	利用者や家族から思いや希望を聞き、介護計画を作成している。利用者の記録簿から情報収集を行い、職員の意見も反映させながら定期的な見直しを行い、3ヶ月ごとにモニタリングを実施している。状況変化時はその都度変更している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日各利用者の様子や言動を記録する時間を設けています。その時間には、職員同士の語らいも行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員も利用者の機嫌や体調に合わせて、その日・その時で柔軟に適した援助を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	馴染みのお店への買い物・ドライブ、ホーム外へ出ることの楽しみを設けています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の希望するかかりつけ医を優先し、3か所の病院からの訪問看護・診療を受け入れています。	入居時にかかりつけ医を確認し、希望する医療機関の往診や訪問看護を受け入れている。また、緊急時や眼科・歯科受診の際は、家族が協力できない場合は、職員が受診援助を行い、適切な医療が継続できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護との連携はとてよく取れています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院の際には利用者のADL・認知状態の情報提供を行っています。退院の日程や病院での状態変化の情報提供を受けています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ターミナルケアは実施していません。その旨の文書・承諾印を家族とかわしています。家族の希望がある方には病院と家族と連携を図り、終末期や重度化した利用者がGHでぎりぎりまで過ごせるよう、職員一丸となって取り組んでいます。	入居時に方針を説明して、可能な限り、ホームで終末期を対応するように努めているが、緊急時は、病院への搬送となっている。家族の協力もあり、看取りケアの事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時は訪問看護にすぐに連絡をとり支持をおおぐようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昨年は避難訓練が1度しか実施してませんでした。今年は2度実行しました。運営会議に近隣住民の方も参加し避難時の協力も承諾を得ました。</p>	<p>避難訓練を年に2回実施し、地域住民も参加している。災害時の食料品や水の備蓄、非常灯の設置・各部屋に懐中電灯も備えている。スプリンクラーは、A棟が設置済みで、今年度中にB棟も設置予定である。夜間時の避難協力を近隣住民へ依頼している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者としての敬意を持つ事を心がけています。失敗ごとや尿失禁にもさりげない声かけを行い、本人や他利用者の気分を害さないような対応を常に心がけています。	利用者の言動を否定せずに受け止めたり、方言を使用する利用者には方言で会話したり、個性を尊重している。排泄の失敗はさりげない声かけをして対応している。入浴も個々に行い、プライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴・レクリエーション・トイレ誘導の際も本人に声掛けを行い同意を得て進めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴日も取決めることなく柔軟に対応しています。レクリエーションや歌遊び等も無理強いはせずに行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服もなじみの物を持ってきてもらっています。装いの好みも把握し、その人らしい格好を優先しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員・利用者は昼・夕食とも同じテーブル・同じメニューを食べることにより、好き嫌い・何が食べたいかを聞きだしてます。下膳が出来る利用者には、お願いしています。	利用者個々の食事形態や摂取量、要望に合わせて完食できるように、四季折々のメニューを工夫して提供している。力に応じて調理の下ごしらえや配膳・下膳を一緒に行っている。桜餅やおはぎなどを作って楽しんでいる。回転寿司やラーメンなどの外食へも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ミキサー食・刻み食・エンシュアリキッドを利用者の食事の摂取量や好みに応じて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きを行い、口腔内の清潔を保てるように支援を行っています。必要な利用者には歯科医による訪問診療・口腔マッサージも実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	金銭的な面・清潔の面からも、オムツ・下着、パットを日中・夜間で使い分けて使用しています。必要な方には排泄チェックをつけ、時間にてトイレへの声掛け・誘導を行っています。	利用者の個々の状態に合わせた適切な排泄支援を実施し、夜間はリハビリパンツを使用しているが、昼間、声かけによりトイレ誘導している。入居時にオムツ使用だった利用者がトイレでの排泄が可能になった改善事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックをつけ、下剤の飲みっぱなしがないよう調整しています。なるべく下剤は服用しないような支援を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は定めておらず、約2日間隔を目安に入浴を行うようにしている。入浴の希望がある利用者には、状況にもよりますが希望に沿うような支援を行っています。	基本的に夏は2日、冬は3日の入浴であるが、身体の汚染時や本人の希望に合わせて個別対応をしている。入浴をいやがる利用者には、家族に協力を得たり、入浴できるように支援し、シャンプーなど個々の好みのものを使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間や食事時間にも幅を持ち、各利用者の体調や習慣に配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員で服薬管理を行っています。薬の変更時には、申し送りや掲示板を使い、注意事項を職員全員で確認します。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>調理手伝いはもちろんのこと、最近では下膳の出来る利用者ができない利用者の分も進んで下膳する場面もみられてきました。又、煙草を吸われる方もいます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>美容室に行きたい・妹宅へ行きたい・自宅が見たい。どこか外へ行きたい。外泊したい。さまざまな希望を叶えられるように、職員同士で連携を取りながら自由な外出を実施しています。</p>	<p>日常的に近隣の散歩や自由に買物に出る利用者がいるが、遠くから職員が見守りしている。近所の住民からの協力も得ている。本人が外出したいという要望にはできるだけ対応し、買物や遠出の外出にも連れ出すようにしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>少額ではあるが、手元にお金が無いと不安という利用者にはご家族の許可を得て、少額のお小遣いを持たせています。利用者同士で近くのコンビニへ買い物に行かれる方もいます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を所有している利用者もいます。ご家族にも、電話で利用者とお話をされたいという方にはいつでもホームにかけて下さいと声掛けをしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	余計な飾り付けや音楽・TVのつけっぱなしは避けています。玄関には季節の花を飾り、楽しめるように配慮しています。	共用空間は明るく清潔である。季節の花々が植えられた玄関先にテーブルと椅子が置かれ、日向ぼっこしながらお茶を飲み、利用者同士や家族との語らいの場になっている。ホーム内の各所にも椅子が置かれ、利用者が好きな場所でゆっくりのんびり過ごせるように配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各利用者の性格や身体状況を把握し、状況に応じた対応をしています。カルタや歌遊びも皆に声掛けをし、無理強いをせず楽しめる時間を設けています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご家族に、なじみの物を持ってきてもらうように声掛けを行っています。入所してからも職員で本人が落ち着けるような部屋作りに努めています。	自宅からテレビや座卓・タンス等の本人の好きな家具や物を持参してもらい、利用者の状態や好みにより、安心して居心地よく過ごせるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室には大きく名前を取り付けています。足元には十分に気を付けながら、毎日清掃を行っています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない